

命と心を 育む社会を目指して

佐賀県議会議員

下田ひろし県政報告

河内町のココ・コーラ ボトラーズジャパン鳥栖市民の森にて

発行

佐賀県議会議員 下田 寛

〒841-0026

佐賀県鳥栖市本鳥栖町 1479-1-103

TEL090-4994-8312 E-mail:hiroshi_shimoda_bmse13@yahoo.co.jp

vol.7

2021年1月

佐賀県議会令和2年第4回定例会

11月定例会が11月26日(木)～12月16日(水)までの期間で開催されました。

一般質問



○インクルーシブ公園の設置について

障害のある子もいない子も、共に楽しむことができる、いわゆる「インクルーシブ公園」の設置について提案しました。インクルーシブとは、「包み込むような／包摂的な」という意味の言葉です。この公園は、車椅子の子は車椅子に乗ったまま緩やかなスロープを登って大型遊具で遊んだり、体が安定しない子は、背もたれのあるブランコでゆらゆらと遊んだり、騒がしい環境が苦手な子は、シェルター型の遊具でかくれんぼをしたりなどして遊べるようになっております。また、遊具周辺の地面は、転んでも怪我をしにくいクッション性のあるゴムチップ舗装などの整備がなされており、安全面にも様々な配慮がなされており、東京都内で誕生しております。県土整備部長から、「健康福祉部と連携し、障害児や保護者の方や、障害者団体などの意見を聞きながら、既存遊具の更新時などにインクルーシブの考え方をどのように取り入れることができるかしっかりと議論して参りたい」と答弁がなされましたので、前向きに進めていただきたいと要望をお伝えしました。

修正案可決

今議会に上程されていた、「佐賀誓いの鐘(仮称)」の設置事業778万円を削除した、修正案が全会一致で可決となりました。佐賀県のコロナ交付金の使い方について、私の一般質問も全国ネットのテレビ放送で取り上げられるなど、かなりの反響がありました。

この事業は差別解消が趣旨であり、その点には大いに賛同しますが、賛同するからこそ、より幅広く納得してもらえる環境が整ってから事業化すべきだと考え、私も修正案に賛同しました。県議会での修正案可決は、佐賀県議会では1984年以来との事です。私は、かつて鳥栖市議会でも修正案議論を経験したことがあります。議会からの修正案提出は、県庁側と議会側が是々非々で議論すべきための議会側の権利でもあります。

また、この事業は、国の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用しています。この制度上では、「佐賀誓いの鐘」事業での活用は問題ないのですが、国のこの交付金制度あり方についても議会から国に物申した結果になりました。

今回の修正案は、行政側と議会が更に切磋琢磨するきっかけになると感じています。また、県民に伝える県政という点でも、議論内容や政治システムそのものについても、知ってもらえるきっかけにもなったと思います。今後も、佐賀県政発展に向けて前向きな議論に努めて参ります。

政策実現!!

2020年6月議会で提案した、「**難病患者の公的施設利用の減免制度**」が実現しました。指定難病医療受給者証を取得している人は、佐賀県内で6606人(2020年5月末現在)います。障害者手帳取得者は、この減免制度が適応されますが、指定難病医療受給者証のみを持っている人には適応されておりました。

今回の11月定例会において、**佐賀県立の博物館や美術館などで、難病患者の観覧料が免除となることとなりました。**

この動きが、市町にも広がることを願っております。

その他の質問項目

- コロナ禍後の政策形成について
- コロナ禍後の産業のあり方について
- 社会全体で子育てを応援する取組について
- 次世代モビリティの活用について



一般質問
の動画は
コチラ



農林水産商工常任委員会

○「いちごさん」の振興について

佐賀県を代表する「苺」として平成21年から開発を手掛けた「いちごさん」が徐々に市場に出回っております。品質も良く、来年度で佐賀県内の苺生産は全て「いちごさん」に切り替わる予定です。生産農家の増収や販路拡大が大いに期待されており、その現状や日本のいちご業界に新風を吹き込む取組について質問しました。



決算特別委員会

決算委員会が11月4日(水)～17日(火)に開催され、私は文教厚生分野の担当となり、質問に立ちました。

○待機児童対策について

待機児童を将来ゼロにするという目標を立てておりますが、既に増加傾向にあり、その原因や対策について尋ねました。佐賀新聞でも大々的に記事に取り上げていただき、課題の重要性を認識しました。鳥栖市の保育士の方々からの要望や、地域の実情も踏まえた対策を今後も継続して訴えて参ります。



決算委員会
の動画は
コチラ

活動報告写真 10月

10月9日(金) テレワーク研修会

佐賀県の元CIO(最高情報統括官)の森本氏をお招きして、コロナ禍後のテレワークの実用性について研修会を行いました。



10月18日(日) 政策コンテスト

(公社)日本青年会議所九州地区佐賀ブロック協議会主催の、高校生政策コンテストに審査員として参加させていただき、母校の東明館高校へのコメントをさせていただきました。



10月31日(土) 鳥栖 夏祭り



鳥栖市商店街連合会が開催した、商店街での夏祭りイベントに参加し家族でお食事。トクトクに乗ってドライブも。

11月

11月14日(土) 防災研修会

本鳥栖町公民館にて防災研修会が開催されました。講師は武雄市川原区の中村区長。昨年の豪雨被害を踏まえた地域の取り組みなどを学ばせていただきました。



11月25日(水) 豊前蓄電池変電所・ふくおか木質バイオマス発電所の視察



再生可能エネルギーについての視察を行いました。政府の方針もあり、エネルギー分野は益々注目されます。

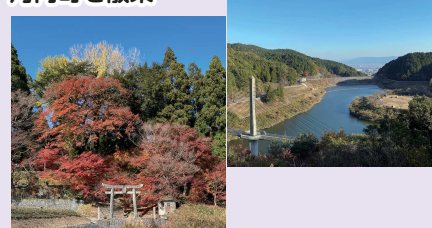
11月28日(土) 防災キャンプ



中原特別支援学校で開催された、防災キャンプに参加。「体験から経験」が副テーマ。道具の備え活用方法など、新たな発見もいただきました。

12月

12月6日(日) 河内町を散策



鳥栖市河内町の大山祇神社や鳥栖市民の森辺りを散策しました。秋から冬に移り行く自然の空気を楽しんできました。

懸賞檄文で入賞

筈崎宮参集殿(福岡市東区)にて開催された、第50回福岡憂国忌において、三島由紀夫氏の没後50周年を記念した懸賞檄文で私の作品が「佳作」に選ばれました。私が理想とする「共生文明の創造」について訴えました。



作品全文はこちらから
ご覧いただけます



あとがき

あけましておめでとうございます。まだまだコロナに振り回される時期が続きます。多くの国民は、目先の生活で精いっぱいであり、私の周りでも多くの苦しみのお声をいただきます。まさに今、政治のリーダーシップが試されています。コロナ禍は新たな時代へのトリガーであり、東京一局集中の政治のあり方では、既に太刀打ちできないことが示されていると痛烈に感じております。目の届く範囲のエリアで、仲間達と繋がりながら、まちを復活させること。非常事態の中でも、思考停止に陥らず、次のステップの為に、一人一人の知恵を積み上げること。正解が見えない時代に突入したからこそ、行政に頼るだけでない大人の気概が求められます。これからも、未来と大局を見据えた提言を行います。今年もご指導ご鞭撻よろしくお願い致します。

登録
お願
いし
ます



<https://lin.ee/opcwmAn>

【討議資料】

